

家庭で子育て 地域で見守り



子育ての出発点は家庭教育です。
親が、家庭生活を通して、子どもとの信頼関係を築き、各年代にふさわしい発達を育むことで、子どもが一人前の社会人として育っていきます。
また、子どもは地域の宝であり、地域社会でも「深く豊かな人間性」を実現する見守り活動が実施されるよう、市民がお互いに協力し、努力していきましょう。

*このリーフレットでは、「保護者」を含めて「親」と表記しています。

きこえてる？ こどもの話に耳をかたむけて

平成23年度青少年健全育成作品コンクール 家庭の日部門 児童生徒の部 標語 最優秀作品

あっはっは 明るい家族 いい明日

平成23年度青少年健全育成作品コンクール 健全育成部門 児童生徒の部 標語 最優秀作品

発行 平成24年2月

長野市教育委員会事務局 生涯学習課

TEL 026-224-5085・FAX 026-224-5104
E-mail gakusyu@city.nagano.lg.jp

1. 家族の絆を深めましょう。

●あいさつは家族の絆の第一歩

「おはよう」「おやすみなさい」

～良好な人間関係（コミュニケーション）を築くための最良の手段

- コミュニケーションが築けないと・・・お互いにさまざまな誤解が生じる

「ありがとう」「ごめんなさい」

～自分の気持ちを伝える最良の手段

- 気持ちをあらわすことばが出るかどうかは、子どもの育つ環境によるところが大きい
- 相手の顔を見て、気持ちを込めて口にする



●食事では、テレビを消して家族の会話

両親は仕事が忙しく、姉は県外へ進学し、最近は一人の食事が多くテレビを見ながら黙々と食べ、何の会話もなく食べ終わる。
でも、久しぶりに家族が揃って何気ない会話をしながら食べるご飯は、何か温かくて、とてもおいしく感じられます。
(家族の温もりを感じた高校生の声)

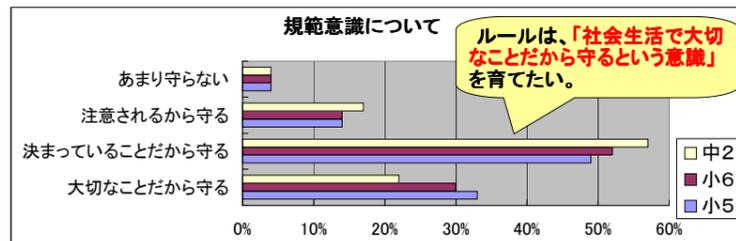


●子ども目線のふれあいが、お互いの信頼感へ

ぼくは、おかあさんが心配してくれるところや、力強く応援してくれるところが大好きです。
おとうさんも、僕の気持ちをわかってくれます。
このあいだ、一緒にキャッチボールをしていたら、僕が何もいっていないのに、そっと僕のところへ来て、ボールのキャッチの仕方を教えてくれました。
(お父さんとのふれあいから)



●ルールを守る意識は家庭から



*平成22年度 長野市児童生徒の生活・学習意識実態調査結果から

●大人の模範的行動が、年長者への敬いの心

- 親や大人は・・・
 - ・社会規範等に照らし、自らの行いを正しましょう。
 - ・自らの行動で、**子どもに模範を示し**ましょう。
 - ・培ってきた知恵を子どもに伝えましょう。

- 一方で子どもは・・・
 - ・年長者の行動や言葉から生きる知恵を学びます。
 - ・親や大人の模範となる行動や経験豊かな姿を見て、**年長者を敬う心**が育ちます。



2. 子どもの意欲や思いやりの心を育てましょう。

●子どもの意欲は、大人の見守る姿勢から



子どもは、本来いろいろなエネルギーを持っています。

- ・子どもがやりたいことを、まずやらせてみましょう。
- ・過保護・過干渉にならないように
- ・子どもの先回りをせず、見守る姿勢を大切に
- ・よくできたときは、ほめてあげましょう。
- ・失敗したときは、そっと声を掛けてあげましょう。

経験することで、喜び・悲しみ・痛みなどを学び、
子どもの意欲はさらに高まります。

●子どもによる決断の機会が、子どもの自主性を育てます



- 意欲をもって、新たな目標を定める力
- 目標を達成するために、自ら計画を立てる力
- 計画を実行に移す力
- 目的を達成するために自分を律する力、判断力、忍耐力
- 自分で実行した結果を受け入れ、対処できる責任感

たくましく生きる力を育てましょう。

●整理整頓を習慣に

- 整理整頓ができる子は・・・

- ・空間の確保とともに、頭の中や心も整理されます。
- ・物事の優先順位をつける力が育ちます。
- ・物を大切にできる心が育ちます。

